

## 貸借対照表

(平成29年3月31日現在)

区 分	金 額	区 分	金 額
固定資産	73億7,626万円	固定負債	39億8,679万円
有形固定資産 (建物・配水管・水道メーターなど)	73億7,607万円	企業債	39億8,422万円
		その他固定負債	257万円
無形固定資産 (電話加入権)	19万円	流動負債	4億7,624万円
流動資産	7億8,595万円	企業債	2億7,486万円
		未払金	1億3,123万円
		前受金	7万円
		引当金	908万円
		その他流動負債	6,100万円
		繰延収益	7億1,933万円
現金預金	6億8,232万円	長期前受金	16億8,320万円
未収金 (未納水道料金) ※貸倒引当金を除く。	7,526万円	収益化累計額	△9億6,387万円
貯蔵品 (たな卸資産)	78万円	資本金	23億5,246万円
前払金	2,756万円	剰余金	6億2,739万円
その他流動資産	3万円	資本剰余金	1,989万円
資産合計	81億6,221万円	利益剰余金	6億 750万円
		負債・資本合計	81億6,221万円

### 財産の状況

貸借対照表は、企業の財政状態を明らかにするため、保有する全ての資産や負債、資本を表示したもので、左側に資産を表し、右側は負債と資本を表しています。

### 負債

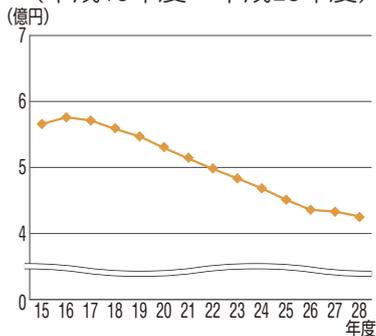
財政状況を示す指標の一つである自己資本構成比率は、資産のうち資本が占める割合をいいます。自己資本構成比率が高ければ健全な財政状況といえます。

平成28年度末現在の水道会計事業では、自己資本構成比率は、約45%で、比較的高い自己資本構成比率と

### 資本

### 資産

### 企業債年度末残高推移 (平成15年度～平成28年度)



平成28年度末現在の企業債残高は、42億5千908万円です。平成16年度以降、減少しています。

なお、企業債は、財政的負担の軽減や、将来利用する市民にも公平に負担してもらうという目的から、長期の計画で返済しており、現在の企業債残高を給水人口一人当たりで換算すると8万7千945円になります。

### 企業債の状況

なっています。



### 平成28年度に実施した主な水道施設工事

区 分	工 事 内 容	事業費
送配水管 新設工事	水道水の安定供給を図るため、幹線となる配水管などの設置工事を行いました。	2,150万円
送配水管 改良工事	赤水発生を防止し、地震などの災害に強い水道施設の整備を図るため、老朽化した配水管の改良(更新)工事を行いました。	1億1,064万円
水道メーター 取替工事	計量法で定められている水道メーターの取り替え(8年ごと)工事を行いました。	3,110万円